

基 本 調 査 票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 6 年 12 月 25 日

設置・運営主体	社会福祉法人誠高会		
設置主体			
経営主体	社会福祉法人誠高会		
事業所名 (施設名)	大宮日進さくらんぼ保育園	種別	保育所
所在地	〒 331-0823 埼玉県さいたま市北区日進町2-1914-7		
電 話	048-788-2820		
FAX	048-788-2821		
Email	jimu-nisshin@seikoukai-sakuranbo.com		
U R L	https://www.sakuranbo-hoiku.info		
施設長氏名	新倉真由美		
調査対応担当者	飯塚美佐子 (所属、職名：事務局 事務局長)		
利用定員	90 名	開設年	27 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
【理念】 ・子どもたちが夢と希望を創りだせる楽しい生活の場を提供します ・家族・地域とのつながりを大切にし、子育てを支援する保育園を目指します 【保育方針】 ・子どもの安全と安心を基本とし、様々な経験を通して五感で楽しみ自己表現のできる子を育てます ・人との関りを通して愛情や信頼感をもとに、思いやりの心を育みます ・自然や世界中の文化に触れながら、豊かな感性を養い、子どもの夢を育てます ・保護者の想いに耳を傾け話し合いながら、子育ての喜びや悩みに寄り添い、共に成長を見守ります ・保育園としての専門性をいかし、地域の子育てニーズにあった取り組みを積極的に行います			
(通所施設のみ)	7:00～20:00		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1 クラスあたり 平均児童数	1 クラスあたり 平均保育士数
0 歳児	6	6	1		2
1 歳児	16	16	1		4
2 歳児	17	17	1		3
3 歳児	17	17	1		2
4 歳児	17	17	1		1
5 歳児	17	16	1		2
計	90	89	6		

（注） 1 クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		17 人	
うち	保育士	12人	保健師・看護師 人
	栄養士・調理員	2人	その他（ 園長・主任・保育補助 ） 3 人
非常勤職員数		19 人	（常勤換算 人）
うち	保育士	11 人	（常勤換算 5.8 人）
		人	（常勤換算 人）
	栄養士・調理員	4 人	（常勤換算 1.7 人）
	その他（ 事務・用務・保育補助・ ）	4 人	（常勤換算 人）
（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 人	非常勤： 人
	退職	常勤： 人	非常勤： 人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		36 歳	（ 歳）
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		5 年	（ 5 年）
（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。			

(保育所の場合)

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

- 6 人

- ・ 保育補助
- ・ 清掃業務

・令和 5 年度における実習生の受け入れ数（実数）

介護福祉士 人

その他 4 人 (保育士)

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	889.91	m ²
	児童1人あたり	9.8 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	250.01	m ²
	児童1人あたり	2.7 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	☒ 1. はい ☐ 2. いいえ
	耐震	☒ 1. はい ☐ 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成27年	

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・運動会やお遊戯会など、イベント終了後には必ずアンケートを記入していただいている。アンケート後は、集計を掲示し公表し、またアンケート結果を次年度の行に等に活かしている。
- ・保護者会などを定期的に行い、情報提供と情報収集を行っている。
- ・エントランスに誰でも投函できる【ご意見箱】を設置している。

【その他特記事項】

貴施設(事業所)の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・未来を生きる子どもたちに今何が必要なのかを常に考え、3年前からグローバル教育の一環として、常勤でネイティブの外国人を英語講師兼保育補助として採用し、0歳から5歳まで各クラスに1日入り、子どもたちと直接あそび触れ合いながら、日々の保育の中で、異文化や本物の英語に触れる機会を作っている。効果として、五感の発達が著しい乳幼時期にネイティブな英語を聴くことで、年長児の英語の発音がネイティブに近く、また海外を身近に感じられる環境が整っている。
- ・元宝塚歌劇団のスターを月に一度招きミニコンサートを開催し、本物の歌声を間近で聴くことのできる時間を設けている。童謡だけでなく様々な音楽や透きとおった歌声に親しむことで、子どもたちの心に歌うことの楽しさや表現することの素晴らしさを伝え、豊かな感性を育てている。
- ・年に2回、園全体で大きなテーマを掲げ、子どもたちと職員が遊びに没頭する『ダイナミック保育』を行っている。今年の夏は50リットル以上の膨大な量の寒天を使い、たらいやおけに寒天を入れて夏のひんやりとした感触を楽しむ寒天遊びを行った。また、実際に竹を組んで流しそうめんごっこを行うなど、子どもが体験したことのないような世界を作り、楽しめるように工夫している。

【第三者評価の受審状況】

- ・ 受審回数（前回の受審時期）

1 回 （平成 30 年度）